

平成16年度から実施される医師の卒後臨床研修に伴い、当学会では「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップを下記の要綱で実施することになりました。

「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップ

1. 目的 「地域保健・医療」研修指導者の開発研修
2. 対象者 保健所所長・医師（「地域保健・医療」部門の施設に勤務する者）
3. 開催日 2003年11月27日（木）～29日（土） 2泊3日
4. 場所 滋賀県大津市「ピアザおうみ」研修室
ただし、参加者の宿泊は市内のホテル利用
5. 募集人員 50名（予定）
6. 講師 未定（厚生労働者）
7. タスクフォース 畑尾正彦（武蔵野医療短大）・福井次矢（京都大学総合診療部）・石川澄（広島大学医学部）・藤崎和彦（岐阜大学医学部教育開発センター）
8. 実行委員会 委員長：徳永力雄（関西医大）
副委員長：多田羅浩三（大阪大学大学院）・角野文彦（長浜保健所）
9. 主催 日本公衆衛生学会
後援 厚生労働省（予定）・滋賀県（予定）・全国衛生部長会・全国保健所長会
10. 日程表

「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップ日程表

	9:30	12:00	13:00		16:00	18:00	19:00
第1日 11月27日 (木)		受付	オリエンテーション 参加者紹介 研修ニーズ (GW/PL)	休憩	講演/討論 (PL) 新医師研修制度と研修医 (2題) 厚労省ほか		懇親会 写真説明
第2日 11月28日 (金)	研修目標 (GW/PL)	昼食	研修方略 (GW/PL)	休憩	研修評価 (GW/PL)	夕食	方略演習 (PL)
第3日 11月29日 (土)	プログラム 作成演習 (GW)	昼食	プログラム 作成演習 (PL)	休憩	総合討論 (PL) 終了式 17時解散		

GW：グループワーク，PL：全体会議（ただし詳細日程は変更あり）

11. ワークショップのねらいと目標

ねらい：

参加者がワークショップへの参加をつうじて「地域保健・医療」の研修のあり方を理解し、その経験をもとに、所属する地域の関係者と連携して具体的な研修実施体制をつくりあげることが期待される。

一般目標：

「地域保健・医療」の研修指導者として、効果的な研修の円滑な実施のために望ましい研修プログラムを立案し、それを推進する能力、および地域保健・医療の基礎的能力を備えた研修医を育成する能力を身につける。

行動目標：

- (1) 医師臨床研修制度および「地域保健・医療」研修のねらいと目標を説明する。
- (2) 望ましい研修の原理と指導のあり方を説明する。
- (3) 地域保健・医療の立場からみた研修医に対するニーズを列挙する。
- (4) 研修医が理解すべき地域保健・医療の基本事項を説明する。
- (5) 研修計画の構成ならびに立案の手順を説明する。
- (6) 目標、方略、評価の要点を説明する。
- (7) 実践的な研修計画のモデルを作成する。
- (8) 立案した研修計画モデルを評価する。
- (9) 成人教育の原理を説明し模擬保健指導等を実演する。
- (10) 地域保健・医療の研修体制の推進に必要な要件を説明する。

12. 参加旅費，食費，懇親会費は参加者負担とする。

平成 年 月 日

ワークショップ参加申込書

FAX 03-3352-4605

日本公衆衛生学会
理事長 多田羅浩三 様

「地域保健・医療」研修指導者開発ワークショップの参加申し込みをいたします。

ふりがな
参加者氏名 _____

性別 男・女 年齢 _____ 歳

所属施設 _____

職位（役職） _____

職種 _____

経験年数（例）保健所 _____ 5年 _____

1. _____

2. _____

3. _____

医学教育・臨床研修・人材開発等の研修会参加の経験
（例）あり _____ 医学教育 _____

1. _____

2. _____

3. _____

4. 経験なし

所属住所 _____

Tel _____

Fax _____

E-mail _____